

能登半島地震におけるインフラ復旧・恒久的な住まい確保に関する報告書

完了目標・復旧進捗率を明示した詳細整理版

1.はじめに(報告書の趣旨と整理方針)

本報告書は、震災後の復旧・復興事業の全体像を俯瞰的に把握することを目的とし、新聞報道、自治体発表、ならびに国の災害復旧事業における一般的な進捗管理手法を踏まえ、各インフラ分野ごとに「工程段階」「後期完了目標」「現在の復旧割合（進捗率）」を体系的に整理したものである。

復旧割合については、応急復旧の完了状況、本復旧への着手率、後期整備段階への移行度合いなどを総合的に勘案した概算値として示している。

併せて本報告書は、ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区として、当地区内在籍する 89 クラブ（2025 年 6 月末時点）が、今後能登地域における支援活動に取り組むにあたり、被災地の復旧段階や地域ニーズを共通認識として持つための基礎資料として作成したものである。

各クラブがそれぞれの特色や強みを生かした支援を検討・実施していく際の参考となり、重複や空白を避け、より効果的かつ持続的な支援につなげていくことを本報告書の趣旨とする。

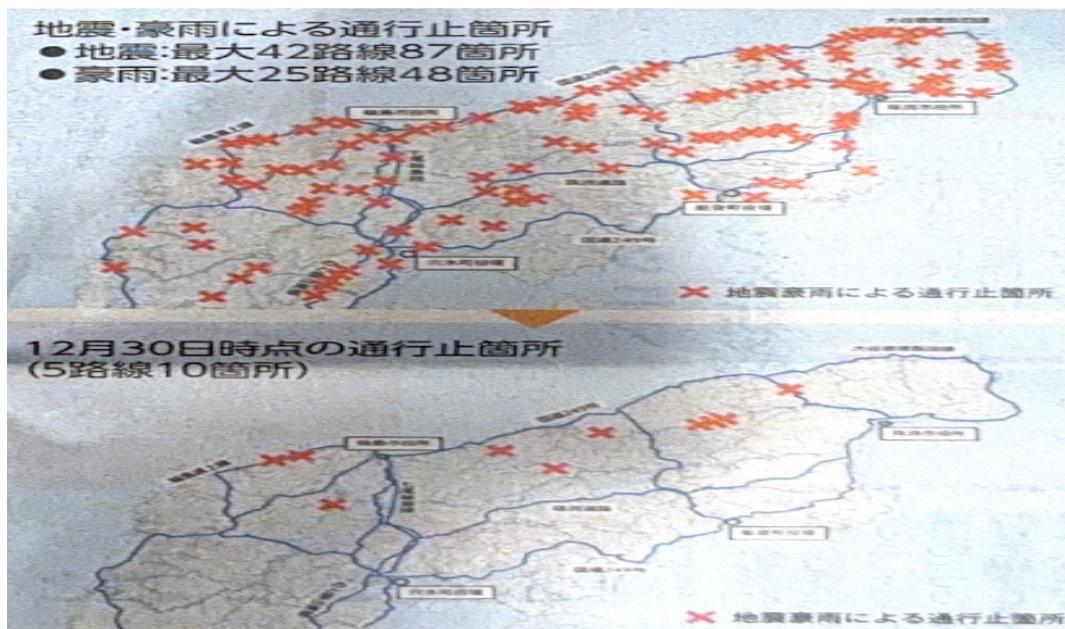
2.道路インフラ復旧（完了：2030年度末/現在進捗約70%）

2-1 被害と復旧の全体像

国道・県道・市町道において、法面崩落、路盤沈下、橋梁損傷が広範囲で発生。半島部特有の地形条件により、代替路がなく復旧工程が長期化する路線が存在する。

2-2 工程別進捗状況

- 応急復旧（通行確保） 内容：仮設道路、片側交互通行、応急舗装
 - 進捗率：約95%完了⇒完了目安：2025年3月末
- 本復旧（安全性回復） 内容：法面安定、路盤補修、橋梁補強
 - 進捗率：約60%着手／約45%完了⇒完了目安：2026年度末
- 後期復旧（恒久安定・改良） 内容：線形是正、落石防護、耐災害性向上
 - 進捗率：計画段階含め約15%⇒完了目安：2030年度末



3.河川・治水施設復旧（完了 2030 年度末/現在進捗約 65%）

3-1 被害状況

護岸崩壊、河床変動、堤防機能低下が複数河川で発生し、出水期における治水安全度の低下が懸念された。

3-2 工程別進捗状況

- 応急治水（出水期対策） 内容：仮護岸、土砂撤去、流下断面確保
 - 進捗率：約 90% 完了 ⇒ 完了目安：2025 年 6 月末
 - 本復旧（護岸・堤防再構築） 内容：恒久護岸、河床整理
 - 進捗率：約 50% 着手 / 約 35% 完了 ⇒ 完了目安：2026 年度末
 - 後期整備（流域治水） 内容：断面拡幅、流域全体対策
 - 進捗率：約 20%（設計・用地含む）⇒ 完了目安：2030 年度末
-

4.港湾・漁港復旧（完了 2028～2030 年度/現在進捗約 60%）

4-1 被害と影響

港湾・漁港で、岸壁沈下、護岸損傷、係留施設破損により操業制限が生じた。

4-2 工程別進捗状況

- 応急復旧・暫定利用 / 内容：岸壁仮補修、暫定係留施設
 - 進捗率：約 85% 完了 ⇒ 完了目安：2025 年 3 月末
 - 本復旧（構造物再建） / 内容：岸壁補強、泊地整備
 - 進捗率：約 45% 着手 / 約 30% 完了 ⇒ 完了目安：2026 年度末
 - 後期整備（耐震化・高度化） / 内容：耐震強化岸壁、作業効率向上
 - 進捗率：約 20%（設計・段階施工）⇒ 完了目安：2028～2030 年度
-

5. 農地・農業基盤復旧（完了 2028 年度末/現在進捗約 75%）

5-1 被害の特徴

農地沈下、用排水路破断、ため池損傷により、作付制限が生じた地区が存在する。

5-2 工程別進捗状況

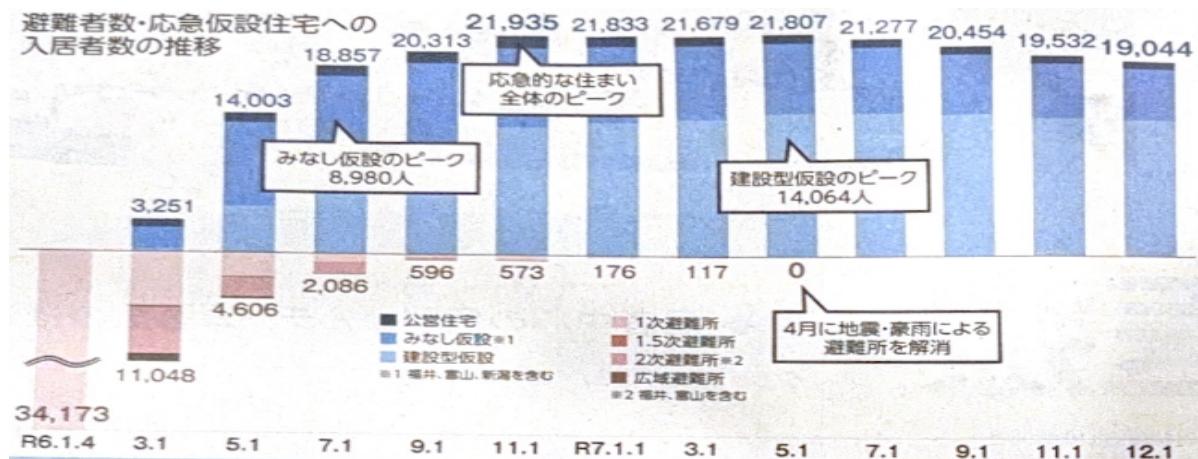
- 応急復旧（営農再開対応） / 内容：仮水路設置、応急補修
 - 進捗率：約 95% 完了 ⇒ 完了目安：2025 年 3 月末
- 本復旧（安定営農水準） / 内容：水路・農地整備
 - 進捗率：約 60% 着手 / 約 50% 完了 ⇒ 完了目安：2026 年度末
- 後期整備（基盤強靭化） / 内容：区画整理、大区画化
 - 進捗率：約 25% ⇒ 完了目安：2028 年度末



6.恒久的住まいの確保（完了 2030 年度末/現在進捗約 55%）

6-1 住まい再建の工程と進捗

- 災害公営住宅（第 1 期）
 - 進捗率：約 60%（用地確保・設計含む）⇒入居開始：2025 年度中
- 災害公営住宅（全体）
 - 進捗率：約 35% ⇒ 整備完了：2026 年度末
- 自宅再建
 - 着工率：約 50% ⇒ 完了率：約 30% ⇒ 概ね完了：2027 年度末
- 後期定住安定化/内容：生活インフラ・サービス連動
 - 進捗率：約 15% ⇒ 完了目安：2030 年度末



本報告書は、各復旧工程における進捗率を明示することで、復興事業の現在地と今後の重点管理領域を可視化したものである。

2025.12.31

ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区 災害対策復興委員会